

教科・科目	英語 コミュニケーション英語Ⅱ
授業者	島崎 綾子
教科書名	<u>ELEMENT English Communication Ⅱ (啓林館)</u> <u>ELEMENT English Communication Ⅲ (啓林館)</u>
補助教材等	CNN Workbook Intensive Course 2022 (朝日出版社) システム英単語 (駿台文庫) スクランブル英文法・語法 (旺文社) Jet Reading level 2 (数研出版)
科目目標	英文読解およびリスニングを通して総合的な英語力を強化する。
使用期間	通年
授業対象	高校2年生 4クラス (161名) 必修
授業内容	1. ペアでの本文の音読 リレー形式など 2. 本文の内容確認, 構文説明, 和訳等 3. 2~3パラグラフごとのRetelling 4. 定期的な語彙や文法語法事項の小テストの実施 5. 速読 6. CNNニュース等authenticな教材を使ったリスニング
一人ひとりの学びを深める要素	重要事項やポイントとなるところは, 説明した後, ペアやグループで確認させて理解を深めるようにしている。全体では発言しにくいところも, ペアだと声を上げやすいようである。何かこちらから問いかける際も, 1人を指名する前にペアでそれぞれの考えを確認するように指示を与えると, 生徒が活発に活動する傾向が見られる。そのbuzzingの中から, 模範解答以外の解答や興味深い見解を拾い上げることができる。 CNNニュースのリスニングでは, 最初にヒント無しでニュースを聞いた後, その時点でわかったことを数人指名してある程度内容を共有してから, 2回目のリスニングに進む。その後はペアで情報を確認しながら, 全体像を組み立てていく作業を行っている。途中, 数字や地名といった手掛かりの指示を与えながら, パズルのように情報を埋めていく。ディクテーションプリントも利用して, 丁寧に聞き取る作業も行う。最近のテーマを扱ったものが多いので, background knowledgeも増やすことができる。
成果と課題および今後の展望	11月に実施したこれまでの語彙の確認テスト(範囲1200語+α)では学年全体の正答率平均が86%を超えたので, ある程度の語彙力はついたかと思われる。また聴解力も, 授業や宿題でauthenticなものを聴かせているからか, テスト方式のものを聴きとるのに抵抗がない様子である。初見の英文もそれなりに読めるので, さらに語彙力および構文力をつけてより難関な長文読解に進んでいきたい。課題は4技能のうち書く力, つまり英作文の力をつけることである。全国英作文コンクールで数名入賞者を出すことができたが, 全体としての力をいかにつけていくかが次の目標である。そして最終的に英語の総合力を高めることに繋いでいきたい。